

—これからの神石高原町に求められること—

全国町村会都市・農村共生社会創造合同シンポジウム 2022/7/23
「デジタル化と地域 神石高原町のDX戦略」

広島県神石高原 町長 入江 嘉則



神石高原町立病院(左) 神石高原町役場新庁舎(右)

自己紹介

2016(H28)年12月5日 神石高原町長就任 現在2期目

1961(S36)年4月4日生まれ (旧三和町井関)

1984(S59)年6月 旧三和町役場に就職 2004年の合併を経て
2016(H28)年3月54歳退職

31年10ヶ月の在職のうち総務企画, まちづくり部署に22年間勤務

2010(H22)年 地域サポート人ネットワーク全国協議会事務局

2011(H23)年 NPO法人 地域再生プロジェクト 副代表(5年)
(気仙沼市大島地区支援, 自然食レストラン運営)

2013(H25)年 NPO法人 nina神石高原 副理事長(4年)
(福島県相馬地方被災者支援, コミュニティスクール他)

家族 両親, 妻と同居



神石高原町の紹介

- 合併 平成16年11月5日(郡内3町1村)
- 人口 8,370人(7月1日現在)
- 面積 381.98km²
広島県の約1/20 千代田区の約31倍
山林 81% 耕作地 4% その他 15%
- 標高 400m~600m(最高峰835m)
- 経済圏 福山市(福山市中心部まで車で50分)



合併時(2004年12月)
人口 12,454人

↓ ▲33%

現在(2022年7月)
人口 8,370人

↓ ▲43%

目標(2060年)
人口 4,800人

生徒数の現状

小学校 5校計 304人(R2) ⇒ 227人(2027年R9)
中学校 2校計 163人(R2) ⇒ 139人(2027年R9)
※推計値のため変化あり
令和9年に全小学校入学者数 30人(R2年度に出生)

高齢者の現状

高齢化率 44.7%(2010年) ⇒ 52.5%(2060年)

高齢夫婦のみ世帯数 767世帯(20%)
高齢単身世帯数 1,083世帯(28%)

神石高原町の紹介 最近の話題



国が進める「デジタル田園都市国家構想」

デジタルの実装を進め、変革の波を起こし、地方と都市の差を縮める。デジタル実装を通じた地方活性化を推進する。

- 事例① 神石高原町スーパーシティ構想への提案
- 事例② ドローンを活用した災害対応, 物流, 担い手育成
- 事例③ ウェアラブルデバイスを活用した行動変容型健康管理
- 事例④ 3D・XRの活用による地域振興



町長 入江嘉則 まちづくりのテーマ

- ① 安心して暮らせるまち
 - ② 幸せに暮らせるまち
 - ③ 誰もが挑戦できるまち
- を実現していくこと

神石高原町 スーパーシティ構想への提案



デジタルによる
課題の解決

■ 通信、金融、データセンター、発電の4つインフラによって実現される医療、交通、教育、産業（農業）、安全、技術の高度化



神石高原町の課題



神石高原町 スーパーシティ構想への提案

先端的サービスの概要



神石高原町 ドローン活用

地産地防の取り組み

- 全体アドバイザー（統括）の役割
- ・ プロジェクト概念「地産地防」提唱
 - ・ 三本の柱（テーマ）立案
 - ・ テーマ到達目標の設定
 - ・ 担い手・高校生への講義（一部）
 - ・ 担い手向け「運用ガイド」執筆
 - ・ 公開実証実験シナリオ作成
 - ・ 研究報告の作成

国
総務省事業



2019年度 体制図

事業実施主体 : 油木協働支援センター
全体アドバイザー : 防災科研
運営事務局 : PERSOL

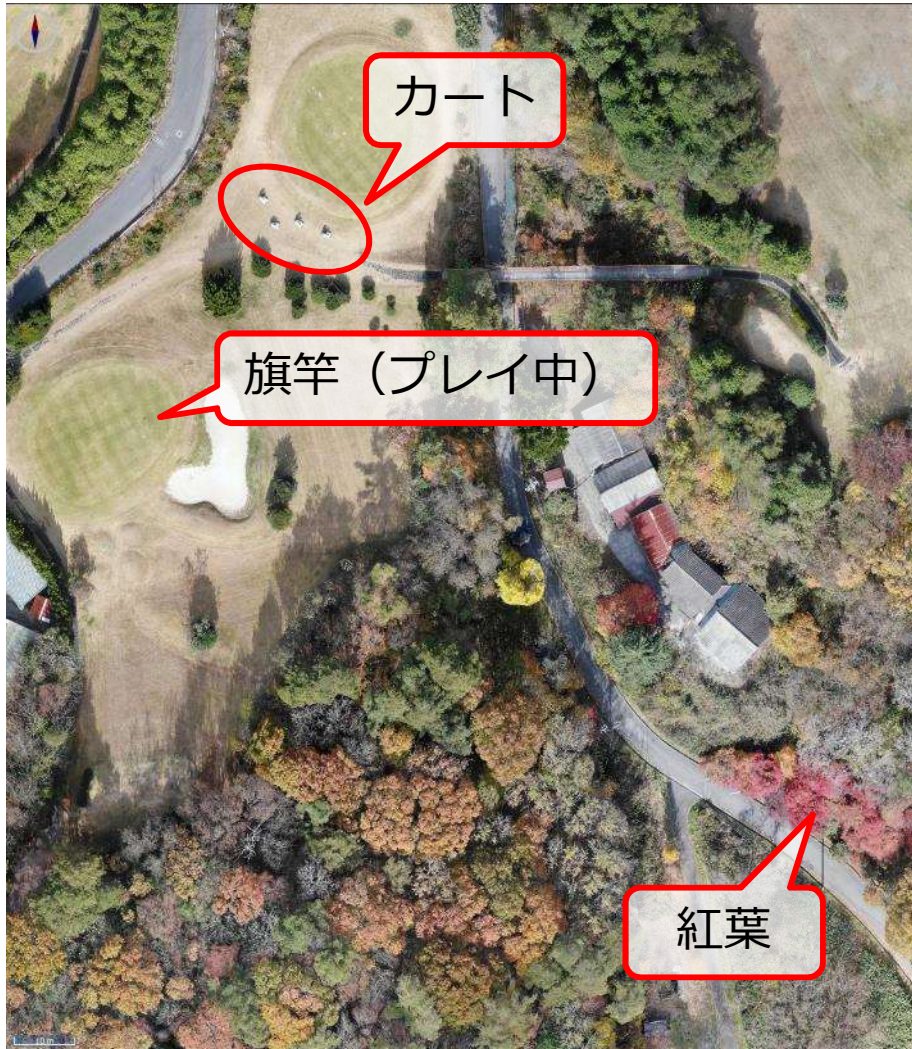
マップ作成（災害初動）

物資配送

担い手育成

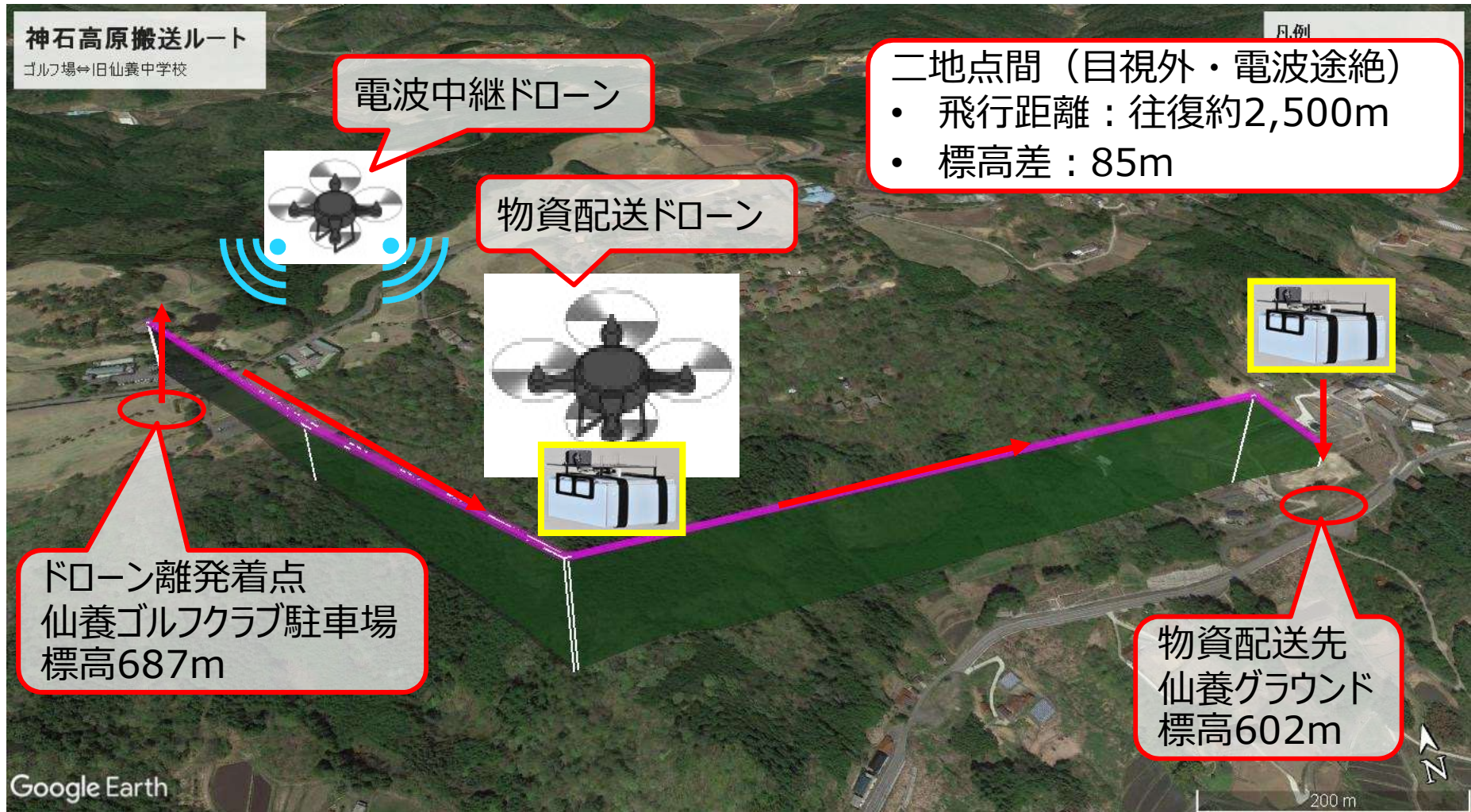
担い手：消防団、自治振興会、地元企業、ドローンアカデミー

マップ作成：「比較アプリ」の開発と活用情報共有 と災害前後の変化比較



撮影：（左）2019/11/21 （右）2019/12/22

物資配送：急峻な地形による電波途絶への対応



※ 機体の機能としては不要ですが、多重の安全確保のため、実証実験では物資配送先にも操縦者を配置しています。

神石高原町 ディバースを活用した健康管理と医療データ連結



ディバースを活用した健康管理(行動変容)と医療連結

- ①歩数計測・血圧測定 ⇒ 行動変容
インセンティブ ⇒ ポイント付与
- ②データ活用 ⇒ 民間企業(データ)との連携
⇒ 広島メディカルネットとの連携
- ③タブレット等活用 ⇒ 遠隔医療
- ④医療費削減 0.061円/1歩



血圧



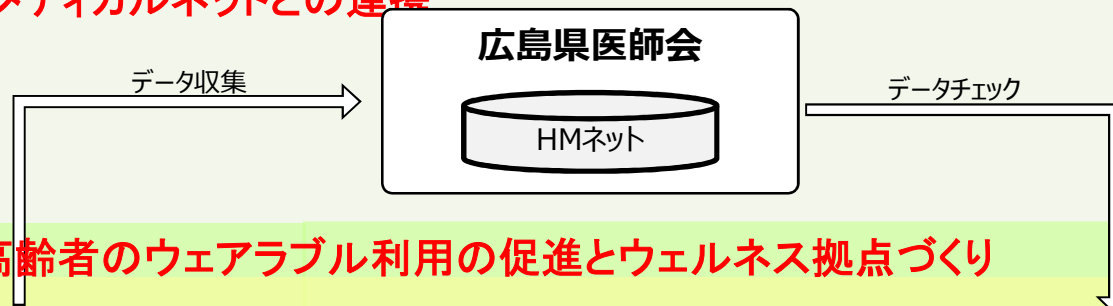
第4章 事業による目指す姿と実施方針

《事業全体の絵姿》

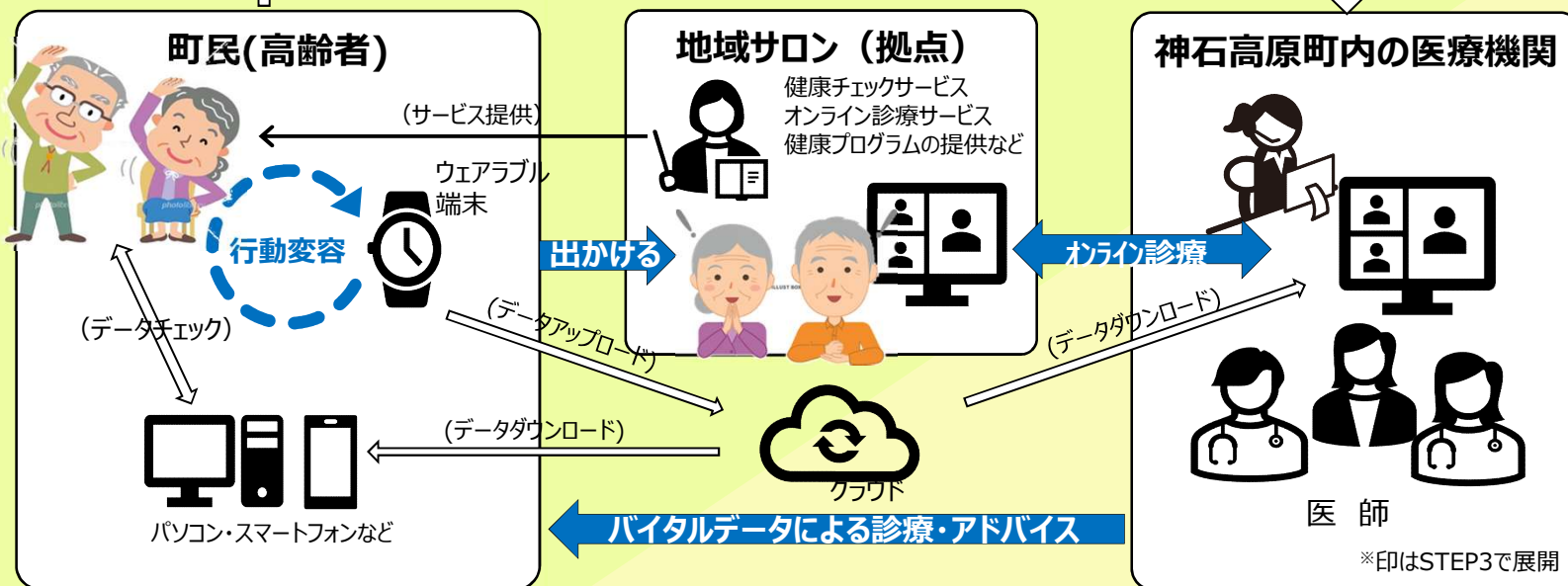
深刻化する医療関連費の増大や医療・介護従事者側の人手不足等に対応するため、本町として、ICTやAIなどデジタル技術を活用して**町民の行動変容を促す取組**を支援するとともに、**新たな予防医療の仕組みを三段階**に分けて構築する。

これにより、**高齢者の健康長寿社会の実現と医師不足等の医療問題解決**の一助を目指す。

【STEP3】 広島メディカルネットとの連携



【STEP1(本年度実証)】 高齢者のウェアラブル利用の促進とウェルネス拠点づくり



【STEP2】 町内医療機関との連携(オンライン診療・相談)

引用:神石高原町デジタル推進計画

神石高原町 3D・XRの活用 XRスクールの開設



町長 入江嘉則 まちづくりのテーマ

- ① 安心して暮らせるまち
- ② 幸せに暮らせるまち
- ③ 誰もが挑戦できるまち

人口は増えない！…として

出来なくなる事を**補完**するための手段

それが「**デジタル化**」, 「**新技術の導入**」